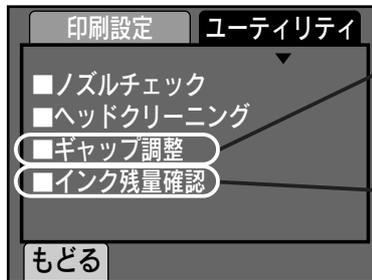


ファームウェアバージョンアップのご案内

本製品のファームウェアを更新することにより、プリンタユーティリティに以下の機能が追加されます。



- プリンタのギャップ調整ができます。
(PM-740DUのみ対応。)

操作手順については、本案内の「ギャップ調整の方法」をお読みください。

- プリンタのインク残量が確認できます。

※「インク残量確認」を選択すると、プリンタのインク残量が表示されます。インク残量確認は、プリンタ接続ケーブルで接続をするプリンタのみに対応しています。対応プリンタの詳細については、お手持ちの「L-300取扱説明書」68ページ(対応プリンタの紹介)をご覧ください。

●ファームウェアを更新する際のご注意

下記の「ファームウェアの更新方法」をよくお読みの上、必ず手順通りに行ってください。なお、パソコンをお持ちでないお客様は、カラリオインフォメーションセンターへお問い合わせください。

ファームウェアの更新方法

1. ファームウェアのダウンロード

① ホームページのダウンロードサイトから、ファイルをダウンロードします。

- Windows XP/2000/Me/98用 : l3111.exe
- Mac OS X v10.2/v10.3用 : l3111.dmg
- Mac OS8.6～9.x用 : l3111.hqx

※お使いのパソコンのOSに合ったファイルをダウンロードしてください。ファイルは圧縮されていますので、解凍が必要になります。なお、どのOSをお使いの場合でも解凍されるファームウェアは同じです。

② ダウンロードしたファイルをパソコン上で解凍します。

[Windows XP/2000/Me/98の場合]

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- ファイルが自動的に解凍されて、ファームウェアが生成されます。

[Mac OS X v10.2/v10.3の場合]

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- 新しく「l300」という名前で、ディスクイメージがマウントされます。
- ディスクイメージをダブルクリックすると、ファームウェアの入ったウィンドウが開きます。

[Mac OS 8.6 ~ 9.xの場合]

ダウンロードしたファイルはBinHex形式になっています。StuffItやCompactProを使用してデコードをします。

- ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- 「I3111.sea」というファイルが生成されますので、さらにこのファイルをダブルクリックします。
- 画面の指示に従い、順番に「Continue」「保存」「Quit」をクリックします。ファイルが解凍され、「I300」というフォルダの中にファームウェアが生成されます。

詳しい操作方法については、StuffItやCompactProのマニュアルをご覧ください。

※いずれのOSをお使いの場合も、解凍後は「Camera.bin」というファームウェアのファイルが生成されます。

※ファイルの拡張子が表示されない設定になっている場合、拡張子は表示されません。

2. カメラとメモリーカードの準備

① 十分な空き容量のあるメモリーカードを、カメラにセットします。

メモリーカードには4MB以上の空き容量が必要です。また、メモリーカードをフォーマットするときは必ずカメラで行ってください。パソコンでフォーマットしたメモリーカードでは正常に更新できない場合があります。

② カメラとパソコンをUSBケーブルでつなぎ、ACアダプタを接続します。

ファームウェア更新の途中で、電池不足などにより電源がオフになると、更新が正常に行えません。必ずACアダプタを接続してください。

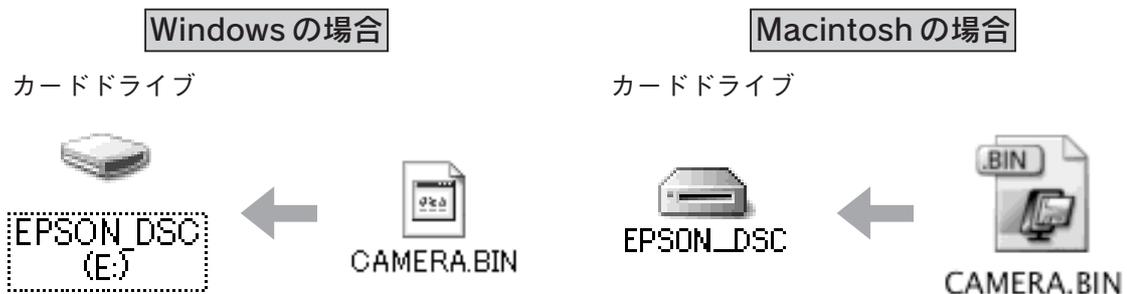
③ メモリーカードがカメラにセットされたことを確認して、カメラの電源を入れます。

メモリーカードが、カードドライブとしてパソコンに認識されます。

3. ファームウェアをメモリーカードにコピーする

① 手順1で解凍したファームウェアのファイルを、メモリーカードにコピーします。

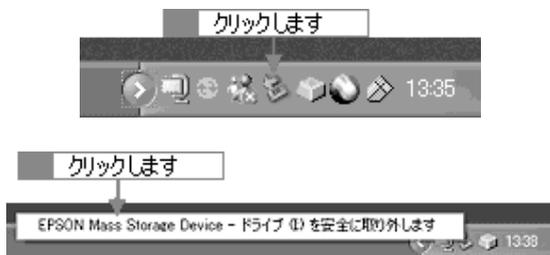
- 解凍したファイルのアイコンを選択して、カードドライブのアイコンにドラッグして重ね、離します。(カードドライブのアイコンは、Windowsではマイコンピュータに、Macintoshではデスクトップにあります。)
- ファイルをダブルクリックしてしまった場合には、開いた画面を閉じて再度ドラッグします。
- メモリーカードの一番上の階層(ルートディレクトリ)にコピーしてください。メモリーカードの中にあるフォルダの中にコピーするとファームウェアの更新が正常に行えません。



② お使いの OS に合わせて、以下の手順でカメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

Windows 2000/XP の場合

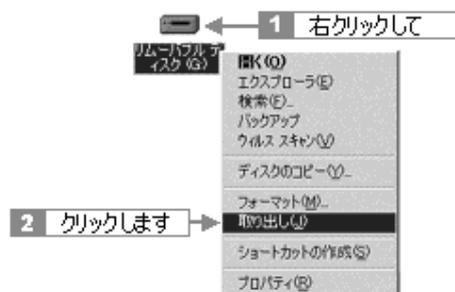
タスクバーの「ハードウェアの取り外しアイコン」をクリックして、図のように操作します。



メッセージが表示されたら、Windows 2000 は「OK」を、XP はメッセージをクリックします。

Windows 98/Me の場合

マイコンピュータで、カメラのメモリーカードドライブを右クリックして、図のように操作します。



Mac OS X v10.2/v10.3 の場合

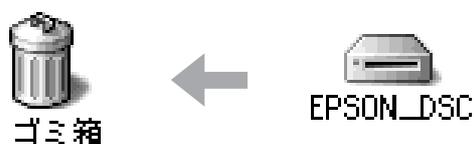
デスクトップにある「EPSON_DSC」アイコンをゴミ箱にドラッグします。



カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを外します。

Mac OS 8.6 ~ 9.x の場合

デスクトップにある「EPSON_DSC」アイコンをゴミ箱にドラッグします。

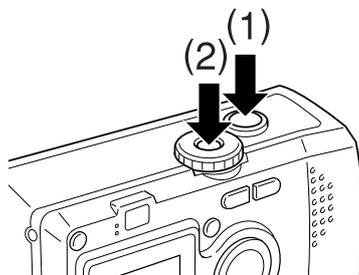


4. 本体のファームウェアを更新する

① 更新する前に以下について確認をしてください。

- カメラにACアダプタが接続され、コンセントから電源が供給されていること。
- カメラの電源がオフになっていること。
- ファームウェアをコピーしたメモリーカードがカメラにセットされていること。

② (1)シャッターボタンを全押ししながら、(2)電源ボタンを押します。



③ LCD 画面を確認して、ボタンから指を離します。

- LCD 画面に「Downloading firmware...」と表示されたら、シャッターボタン、電源ボタンから指を離します。
- メモリカードアクセスランプとイルミネーションランプが点滅し、自動的にファームウェアの更新が始まります。
- 更新完了まで約3分かかります。メモリカードアクセスランプの点滅が消えるまで、そのままお待ちください。

※更新中は絶対にACアダプタを外さないでください。

④ メモリーカードから本体への書き込み終了を確認します。

メモリーカードから本体への書き込みが終了すると、メモリカードアクセスランプが消え、「Firmware download is complete: Version x.xx」(x.xxはファームウェアのバージョン)と表示されます。(イルミネーションランプは点滅のままです。)

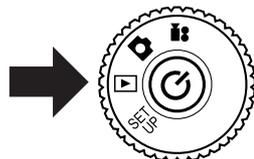
⑤ 電源ボタンを押して、カメラの電源をオフにします。

5. ファームウェア更新の確認

① メモリーカードをカメラから取り出します。

② モードダイヤルを「再生モード」に合わせてカメラの電源をオンにします。

- 画面右下に、バージョンが表示されます。



画面右下に「Ver.1.11」と表示されていれば、更新は正常に行われています。

- ファームウェアの更新が正しく行われたことが確認できたら、メモリーカードにコピーをしたファームウェアのファイルは削除して構いません。
- 正しいバージョンが表示されなかったときは、ファームウェアの更新が正常に行われていません。再度更新を行ってください。それでも更新が正常に行われない場合は、カラリオインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

ギャップ調整の方法

ギャップ調整を行うと、双方向印刷位置のズレが補正できます。また、双方向印刷がオンのときの印刷結果が思わしくないときに、ギャップ調整を行うと改善される場合があります。調整用パターンを印刷して、調整値を読み取り、指定します。

6. プリンタユーティリティで、「ギャップ調整」を実行する

- ① カメラとプリンタを接続して、プリンタの電源を入れます。また、プリンタにA4用紙をセットしておきます。

カメラとプリンタの接続については、お手持ちの「L-300 取扱説明書」69ページ(ダイレクトプリントの手順)をご覧ください。

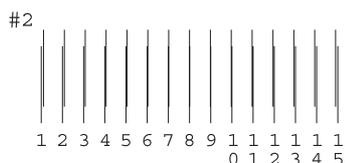
- ② プリンタユーティリティ画面で「ギャップ調整」を選択します。

プリンタユーティリティ画面の使用方法については、お手持ちの「L-300 取扱説明書」79ページ(プリンタ用ユーティリティの使用)をご覧ください。

- ③ 調整用パターンが印刷されます。

7. 調整値を指定してギャップ調整をする

- ① 印刷されたパターンを見て、最もズレの少ない番号を読み取ります。



このサンプルの場合は「8」がズレのない直線に見えます。

- ② ▲▼ボタンで調整値を指定します。



どれも合っている線がなかった場合、1または15のいずれか、ズレが少ない番号を指定した上で、再調整を選択し実行(⚡ボタン)を押してください。再度調整パターンが印刷されますので手順①から繰り返してください。

- ③ 終了(⚡ボタン)を押します。

調整を終了します。

ファームウェアバージョンアップのご案内は以上です。